

令和4年度 第4回浜松市環境影響評価審査会 会議録

- 開催日時 令和5年3月13日(月) 午前10時00分から午前11時00分
- 開催場所 浜松市役所鴨江分庁舎 二階会議室
※本会議はWeb会議方式にて開催した。Web会議出席者は「3出席状況」のとおり。
- 出席状況

審査会委員

出欠	役職	氏名	所属	参加方法
○		磯村 克郎	静岡文化芸術大学 デザイン研究科 教授	WEB
○		岡島 いづみ	静岡大学 工学部 准教授	WEB
○		岡田 恭明	名城大学 理工学部 教授	WEB
○		加須屋 真	常葉大学 社会環境学部 非常勤講師	会場
○		北村 亘	東京都市大学 環境学部 准教授	WEB
-		木寄 暁子	静岡大学 理学部 准教授	会場
○		小杉山 晃一	常葉大学 社会環境学部 准教授	WEB
○		酒井 奨	一般財団法人エネルギー総合工学研究所 副主席研究員	WEB
○		坂田 昌弘	静岡県立大学 食品栄養科学部 名誉教授	WEB
○	副会長	土屋 智	静岡大学 農学部 名誉教授	会場
○	会長	平井 一之	一般社団法人 静岡県環境資源協会 専務理事	会場
○		宮崎 一夫	遠州自然研究会 事務局長	WEB
○		向井 貴彦	岐阜大学 地域科学部 教授	WEB
○		横田 久里子	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 准教授	WEB

事務局

環境政策課	山田環境部次長(環境政策課長)、上野課長補佐、辻主幹、内山主任、山本
-------	------------------------------------

説明者

事業者	株式会社シーテック
	一般財団法人日本気象協会

- 傍聴者 3名(報道0名)
- 議事内容
(1) 審査事項
(仮称) ウインドパーク天竜風力発電事業 環境影響評価準備書について
- 会議録作成者 環境政策課企画調整グループ 山本
- 記録の方法 発言者の要点記録
- 会議記録 有(公開)

1. 開会

2. 議事 会議の公開、会議の成立について

事務局（山田次長） 《会議の成立確認》

《会議の公開について確認》

はじめに、会議及び会議録の公開についてお諮りする。本日の会議は原則公開とし、希少な動植物の情報など、非公開情報の審議をする場合のみ非公開とするがよいか。

（異議なし）

了承いただいたので、本日の審議は一部非公開とする。

（傍聴者入室）

会の後半に、希少な動植物の生息地など、非公開情報を含む審議の時間を設ける。非公開の審議に入る際には、傍聴者に退室をお願いする。

《WEB 会議における注意事項説明》

《資料の確認》

それでは、次第の 2、議事に入る。議事進行については浜松市環境影響評価条例第 60 条第 1 項により、「会長が会議の議長となる」とされているため、ここからの進行は平井会長にお願いする。

議事 事業者による事業説明、質疑応答

平井会長

それでは、議事進行をさせていただきます。

本日の会議録は、事務局で作成し、浜松市附属機関の会議録の作成および公開に関する要綱に基づき、公開することとする。

それでは議事「(仮称) ウインドパーク天竜風力発電事業 環境影響評価準備書について」に入る。

本審査会では、冒頭のみ事業者を招いている。前回の審査会の中で、追加で質問したいことや、説明をお願いしたいことがあれば伺う。

各委員

追加質問なし

平井会長

それでは、追加の質問がないため、事業者に対する質疑応答は終了とする。続いて、市長意見案に関する審議に移る。

事務局から説明をお願いする。

事務局

《資料 1 に基づき説明》

平井会長

事務局から提示された市長意見案についてご意見、ご質問があればお願いする。

宮崎委員

市長意見案の中で、動植物の移殖という文言が使われている。植物であれば、一般的によく使われるが、動物の場合、この言葉を使うのか疑問である。

- 向井委員 淡水魚や両生類の場合は、移殖という言葉はよく使う。移殖の「殖」の漢字について、これが木偏を使う「移植」の場合は植物を限定して指すが、「移殖」であれば個人的には問題ないと思う。
- 土屋委員 対象事業実施区域の一部には水源涵養保安林を含むため、市長意見の中でその文言に触れた方がよいのではと考える。
- 事務局 調整する。
- 坂田委員 コンクリート打設に伴うアルカリ性の排水への影響について言及されているが、唐突な印象を受けた。コンクリートの溶けた排水が影響を及ぼす可能性があるというのは一般的なもののなのか。
- 事務局 前回審査会の場で事業者も排水に関する発言をしていたが、コンクリート打設工事の際にアルカリ性の排水が出る可能性があるため、明記した方がよいと判断した。
- 加須屋委員 今回の状況とはかなり異なるが、2007年に三島市の源兵衛川では実際に生コンクリートの流出事故というのがあった。その際、ホトケドジョウをはじめとして、多数の魚類が死んで浮き上がったことがあったので、参考までに共有する。
- 事務局 類似する状況が発生しうることを加味して、意見書に残したいと思う。
- 酒井委員 アルカリ性の排水だけに注目されているが、金属イオンを含むような排水だと酸性になると思う。コンクリート系であればアルカリ性になるので基本は表記のとおりでいいと思うが、酸性にもなりうるため念のためお伝えする。
- 事務局 排水全般について、表現を再度検討する。
- 酒井委員 個別事項に記載されているそれぞれの文末が、「説明を行うこと」で終わっていたり、「影響を及ぼすことがないようにすること」で終わっていたりと、表現に揺れがあると感じた。
- 坂田委員 同様に、文末表現で、「十分な検討を行うこと」という表現がいくつかあるが、検討だけで終わってしまうことを懸念する。もう少し説得力のある表現の方がよいのでは、という印象を受けた。
- 事務局 文末表現については再度見直す。一旦預りとさせていただきたい。
- 岡田委員 騒音・超低周波音において、「供用後に騒音・振動・超低周波音について事後調査を行うこと」とあるが、供用後の振動は予測評価を行っていないため、不要であると思われる。
- 事務局 振動に関しては削除する。
- 平井会長 意見が出尽くしたようなので、今回の審議はこれまでとする。進行を事務局にお返しする。

3. 閉会

事務局（山田次長） 本日は長時間にわたりご審議いただき感謝申し上げます。
事務局から、連絡事項をお伝えする。

事務局 本日の議事について、追加のご意見・ご質問等ある場合は、3月17日（金）までに事務局へご送付いただきたい。
本日の会議録については、事務局で取りまとめて送付するので、内容の確認をお願いします。

事務局（山田次長） <<閉会>>